

団体名 バスケットで越谷を盛り上げる会

実施事業名

バスケU15の育成環境を向上する講演・実演・意見交換会

実施期間

令和5年8月20日



【第一部】10:30~12:00 (90分) 越谷アルファーズによるクリニック (参加費:無料)

<実施内容>

プロバスケットボールクラブ越谷アルファーズの青野和人ゼネラルマネージャー(スクール・ユースディレクター)、鎌田真選手が講師となり、未経験者・初心者の小学生17名に、バスケットボールの楽しさを伝える体験会を実施しました。

<成果>

参加したお子さんにはバスケットボールの楽しさを感じていただき、プロバスケットボールクラブの越谷アルファーズ様が講師となったことも、特別な体験となったようです。一方で、未経験者・初心者のお子さんに参加していただいたものの、実際には経験の違いもあり、大変そうだったとのコメントがありました。事前にレベルの違いを把握することは難しいのですが、次回は序盤でレベルを把握するなど、講師と調整したいと思えます。子どもが、バスケットボールや何かしらの運動をはじめるきっかけになることを期待しています。

【第二部】13:00~14:30 (90分) 浅川俊彦さんによるケガをしにくい正しい体の使い方・講演・実演会 (参加費:大人500円)

<実施内容>

東京大学大学院 教育学研究科附属学校教育高度化・効果検証センター特任講師の浅川俊彦氏が講師となり、小学校の講師、クラブチームのコーチなど、参加者11名に対し、武術、民俗舞踊、礼儀作法から、体の構造と自然の力を利用した合理的な体の使い方(「伝統的身体技法」)をもとにした、ケガ防止とパフォーマンス向上にもつながる講演、実演会を実施しました。

<成果>

体の部位の僅かな感覚を意識するだけで、外部からの衝撃に強くなったり、回転のスピードが速くなったりと、参加された方は驚かれていました。小学校の先生は体育の馬飛びの教え方のヒントになる、バスケットやバドミントンの指導者もそれぞれの競技の動作のヒントになると仰っていました。ケガをしにくいと同時にパフォーマンスも向上する、正しい体の使い方を基本とした指導が広がるきっかけになることを期待しています。



【第三部】15:00~16:15 (75分) 部活動地域移行の意見交換会 (参加費:無料)

<実施内容>

第二部講師の浅川俊彦氏、第三部講師の佐東雅幸氏、当会会長の中村直弘をパネリストとし、各地の実例を交えながら、参加者部活動地域移行についての意見交換会を実施しました。参加者はクラブチームのコーチ、一般の方など6名でした。

<成果>

部活動地域移行の手続きではなく、誰もがスポーツにアクセスできるより良い環境(下記3点)を目指すことが重要だという意見が纏まりました。

- ① 総合型地域スポーツクラブ⇒多様なクラブが存在する総合型地域スポーツタウンへ
- ② 国の「スポーツ庁(文部科学省)×経済産業省」の議論の枠組みを県、市にも導入
- ③ ①を実現するプラットフォームを構築(スポーツクラブを網羅したポータルサイトと貧困世帯支援などを担う財団の設立)

【第四部】16:45~19:45 (180分) ERUTLUCによる成長に応じた育成と指導・講演・実演会 (参加費:大人500円)

<実施内容>

下記2つの観点から、育成世代の選手の習熟レベルに応じた指導についての講演・実演会を実施しました。

「スパーシング」：オフボール時にどのように動いてボールマンを助ければよいか
「ゲームモデル」：オフenseに切り替わる瞬間からゴールを決めるまでの局面を分解・構造化
参加者はバスケットボール部の顧問、クラブチームのコーチ、小中学生選手、保護者など、32名でした。

<成果>

参加された多くの指導者、選手が、体の成長に合わせた理論的な指導を受けるのは初めてで、参考になったと仰っていました。

「長期選手(競技者)育成(Long-Term Athlete Development:LTAD)」(※)、勝利主義と育成主義、年齢と習熟レベルに応じた理論に基づく指導が広がり、育成環境が向上することを期待しています。
※「それぞれの発達段階にとって適切な能力を伸ばすことで、生涯に渡って健康を促進しながら、子どもたちがアスリートとしてのパフォーマンスを最大化できるようサポートすること」

【全体を通して】

特に第二部から第四部の集客が課題となりました。

チラシの完成、SNS広報の開始が8月初旬と遅れたことありますが、事前調整していた中学校の先生方の参加も2名でしたので、告知内容や調整方法、各コンテンツの内容など全体的に再検討致します。またプログラムの順番として、第二部(体の動かし方の原則)と第四部(バスケットボールの指導方法)をセットで参加していただく、より効果が高まる内容でしたが、第三部「部活動地域移行の意見交換会」を間に入れて分断してしまったことが、集客減の一因となった可能性もあります。

第一部から第四部の個々のコンテンツとしては良かったのですが、会場や予算の規模に対する成果としては物足りないものとなってしまいました。

次回以降、コンテンツの内容、見せ方、調整方法のほか、人が集まる他の事業に相乗するなど、少しでも多くの方に参加して頂けるよう引き続き改善致します。

<団体からの一言>

普段の活動では呼べないプロの方、専門家の方から貴重な講演・実演をしていただきました。ご支援に感謝いたします。

お問い合わせ先：

バスケットで越谷を盛り上げる会

<https://shorturl.at/LsEqg>

